

① 学習指導案

プログラム	No. 6 「ウォールアートプロジェクト」
単元名 (全 時間)	「届け！みんなの思い！～ウォールアートプロジェクト～」
学習のねらい	○まちの人との関わりやまちの様子を意識しながら歩くことを何度も繰り返すことで、普段見過ごしているまちの景観や良さを意識化して理解を深めるとともに、自分たちが住むまちについての愛着をもつ。 ○馬場のまちの一員としてまちをよりよくしていこうとするための取組を通して、学んだことを工夫して表現する。
学習内容	1 無意識だったまちの景観を注視することを通して意識化する 2 景観からの新たな発見をどのように共有するかの合意形成を図る 3 不思議を解決する活動を通して、住んでいるまちへの理解を深める 4 自分の住んでいるまちのよさを再認識し、まちへの愛着を深める
参考資料 準備品 実施場所等	【参考資料】ウォールアートについての資料 【準備品】タブレット端末、筆記用具、アクリル絵の具等の用具、 バインダー 【場 所】学校、教室、学校周辺の商店街他

学習の流れ




時間	学習活動	教師の指導	評価
10	「“馬場のまち”のために私たちにできることを考えよう」 ・まち中を探検しながら、自分たちにできるまちの盛り上げ方を考える。	・ウォールアートにつながるように、壁を意識した道順でまち探検をまず行う。 ・タブレット端末の操作（撮影、描画、データ管理等の方法）を指導する。 ・見つけた“盛り上げポイント”を写真に収める。	・活動の意欲（観察） ・コミュニケーション力（観察） ・自己決定力（観察・成果物）
10	「ウォールアートで“まちの景観”を明るくしよう（学校内・商店街）」 ・校長先生や商店街で働く方に交渉しに行く。	・依頼文の参考として、活動の目的やきっかけなどのポイントを文章の中に入れるよう指導する。	・交渉力（成果物等）
20	「“馬場小学校”にウォールアートをつくろう」 ・専門家を招いたり他学年の	・表現方法を合意形成によって決め、広く伝えられるように、相手意識をもつ。	・活動の意欲（作品） ・コミュニケーション力

20	<p>児童や教員に聞いたりして馬場小のよさを表現したウォールアートをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用するなどし、グループ毎にデザインする。 <p>「“みゆき商店街”にウォールアートをつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家を招いたり商店街で働く方に聞いたりして商店街のよさを表現したウォールアートをつくる。 ・タブレット端末を活用するなどし、商店街で働く方が求める内容のデザインをグループごとに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法を合意形成によって決め、広く伝えられるように、相手意識をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・達成感を共有し、学校、地域そして学級への愛着をもつ。 	<p>(作品等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤 (作品等) ・表現力 (作品) <ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲 (作品) ・コミュニケーション力 (作品等) ・試行錯誤 (作品等) ・表現力 (作品)
10	<p>「集大成として出来上がったウォールアートを保護者に発信しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォールアートの紹介をポスターを作り、多くの人に景観を生かしたまちおこしの活動のよさを知ってもらう。 ・学級で取り組んだ活動意義について確認し、景観のよさを再認識する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感 (振り返り記録) ・表現力 (成果物)

<留意点>

- ・移動中のマナー ・安全面の行動基準の徹底 ・保護者等ボランティアの打診

② 事業実施報告書詳細

学校名				
時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
5	教室	・これまで身に付けてきた力を使って、まちのために自分たちができることを考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で商店街の活気が今までよりも取り込んでいる。 ・自分たちの特技を生かして、まちを明るくしたい。 ・絵の力で見る人を元気にしていこう。
10	教室 馬場小学校 いやさか湯	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォールアートの魅力や効果について調べる。 ・商店街の銭湯（いやさか湯）と馬場小学校にウォールアートを描く許可を取りに行く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウォールアートには宣伝効果や雰囲気明るくする効果があるみたいだね。 ・小学校で過ごすみんなのためにウォールアートを描きたい。
25	教室 教室 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォールアートの作り方について調べる。 ・学校に描くウォールアートのデザインを決める。 ・専門家からのアドバイスをもとに、デザインを修正する。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵で表現する思いをどんな絵や色で表現するのかを、まずは考えなきゃいけないのか。 ・誰が見ても同じ読み取りができるデザインがいいデザインなのか。

	校庭	<ul style="list-style-type: none"> 学校の体育倉庫にウォールアートを描く。 		<ul style="list-style-type: none"> これまで一生懸命考えてきたデザインで、馬場小学校を明るくしていくぞ。
25	<p>いやさか湯</p> <p>教室</p> <p>いやさか湯</p>	<ul style="list-style-type: none"> いやさか湯で働く人たちにデザインに関するインタビューをする。 いやさか湯に描くデザインを専門家の助言を参考に完成させる。 いやさか湯の壁にウォールアートをつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「どんな思いをもって働いているのか、ウォールアートを見てお客さんにどう思ってもらいたいのか」を教えてもらって、デザインの参考にする。 お店に描くということは、集客効果があるものになくちゃいけないのか。 お客さんが来たくなるように目玉となるような作品にしよう。
5	教室	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にこれまでの学習成果を発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> 一年間の学習成果を保護者に知ってもらおう。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>自分たちが暮らすまちに視点を向けることで、まちのために力を尽くそうとする姿勢をもちことができた。また、自分たちの強みを生かした活動にすることで、活動に対する意欲につながった。</p> <p>ウォールアートをただ制作するのではなく、デザインに思いをのせて表現することを常に意識させることで、表現力や自分たちが生まれ育ったまちへの関心や思いを高めていこうと考えた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>専門家と子どもたちを関与させる計画を立てることに苦労した。ウォールアートについての知識がこの学習の肝となるため、専門家の存在は不可欠だと考えた。しかし、コロナが少しずつ落ち着いてきたこともあり、なかなか予定の合う専門家を見つけることができなかった。</p> <p>子どもたちは絵をデザインしたり、描いたりすることに夢中になりやすかった。そのため、相手意識をもって思いを表現するという目的からズレてしまう場面も多くみられたことも苦労したことである。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>「まちを明るく盛り上げていきたい」という思いをもって学習に取り組んでいた。この視点でまちを見ていくと、地域の商店街のお店の多くが閉店していることに気付いた。その商店街には子どもたちがよく行っていた駄菓子屋もあったことから、“活気を取り戻したい”という思いを強く感じることができた。専門家とのつながりの効果もあり、意欲を高く保って最後まで学習し続けることができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>活動を通して、教師自身も地域の材や活動の材を知るきっかけとなった。さらにタブレットを利用してデザインなどを考える過程を通して、ICTを活用した教育の一例になった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>教師自身が「総合的な学習の時間」の進め方について、見通しをもつことが難しかったため、学習のスタートが遅れてしまった。また、子どもたちの目的意識が「まちを明るく盛り上げる」ことだったため、初めから活動の範囲を狭めてしまったかもしれないと感じる。しかし、子どもたちの住む地域を材に取り挙げたことで、景観というものをより身近に感じられるようになっていた。</p>